

Like 32

ツイート

0

週刊ヤマケイ



2017/06/08

週刊ヤマケイ

今週末の「山のワンポイント天気」

ウェブサイト「山の天気予報」を運営し、メールでの天気予報配信も行なっている株式会社ヤマテンの気象予報士、猪熊隆之さんと渡部 均さんによる解説です。今週末の山行に役立ててください。

1999年10月7日第3種郵便物認可 2017年7月1日発行通巻129号

Natsuyama

夏山ガイドの完全版

ワンダーフォーゲル 7月号増刊

夏山 JOY 2017

【北アルプス】
 燕岳
 常念岳
 蝶ヶ岳
 積ヶ岳
 穂高岳
 瀧沢
 焼岳
 双六岳
 笠ヶ岳
 三保蓮華岳
 鷲羽岳
 黒部五郎岳
 雲ノ平
 栗原岳
 針ノ木岳
 錦ヶ岳
 鹿島権ヶ岳
 五竜岳
 黒岩岳
 嶺ヶ岳
 山梨山
 妙高山
 白雲山
 白雲山

【中央アルプス】
 水鏡駒ヶ岳
 宝剣岳
 ミノ沢岳
 空木岳
 結雪山

【南アルプス】
 北岳
 駒ノ岳
 農鳥岳
 甲斐駒ヶ岳
 仙丈ヶ岳
 鳳凰三山
 権見岳
 荒川岳
 赤石岳
 聖岳

【ハウツー】
 夏山計画の
 立て方&歩き方
 山で作る、食べる
 フライパン料理
 ほか、夏山の
 役立ち情報満載!

【縦じ込み付録】
 登山用品カタログ
THE EARTH 2017

【アクセス＆データ】
 北・南・中央アルプス
 最新アクセス情報
 山小屋&キャンプ指定地
 データベース

【全国夏山コースガイド】
 北海道 大雪山系白雲岳
 東北 磐梯山
 関東 尾瀬・日光 尾瀬ヶ原・蝶ヶ岳
 至仏山・日光白根山
 八ヶ岳 奥草津～赤岳
 茅渚 四阿山
 筑城 妙高山～高谷池
 白樺 白山
 九州 宮之浦岳

【特集】
**エリア・泊数別で紹介!
 夏のアルプスベストコース**

ワンダーフォーゲル7月号増刊『夏山JOY 2017』/6月7日発売/1111円+税/A4変形判/226ページ/縦じ込み付録：登山用品カタログTHE EARTH 2017（オールカラー256ページ）

夏のアルプスベストコース

今年も夏山JOYは日本アルプスのほぼ全域と人気山域を紹介し、さらに「最新登山用品カタログ THE EARTH 2017」が縦じ込み付録についてくる、充実の一冊。

特集は「エリア・泊数別で紹介する夏のアルプスベストコース」。1泊2日～2泊3日の縦走プランを中心に、日本アルプスのメジャールートスケール感あふれる写真と臨場感たっぷりのテキスト、そして大きく見やすい地図で徹底紹介します。山岳写真家・三宅岳さんの「常念山脈一人旅」、イラストレーター・神田めぐみさんの「絶景求め雲間の岩稜歩き」、そして編集部員による大キレット挑戦記や、立山の大展望縦走路レポートをはじめ、各エリアに「行きたくなる」記事が盛りだくさん。そして、実際に「使える」ガイド記事も収録されているので、夏山のプランニングにぜひ役立ててください。

夏山JOY 2017

<https://www.yamakei.co.jp/products/2817914129.html>

5月27日～28日、晴れのち曇り、ガス、霧雨

谷川岳の一ノ倉沢は、劔岳、穂高岳とならんで日本三大岩壁として知られています。今回は衝立岩中央稜と烏帽子岩南稜をめざし、2日間の日程を計画しました。初日は一ノ倉沢出合いにテントを設営して中央稜を、2日目は烏帽子岩南稜の登攀をすることにしました。

雪不足だった昨年は、ひょんぐりの滝の高巻きに手こずりましたが、今年は残雪が多く、一ノ倉沢出合いから雪渓を歩いて難なくテールリッジに乗ることができました。テールリッジは前日の雨で濡れたところがあったので慎重に登りました。岩壁の基部に到着すると南稜、中央稜ともすでに先行パーティーの登攀が始まっていましたが、順番待ちのパーティーはなかったため、すぐに登攀を開始することができました。前日の雨で岩壁の濡れを心配していましたが、朝からの日差しと風のおかげで、まずまずのコンディションになりました。ところが4ピッチ目あたりからガスが出はじめ、風も強まってきたので、最後の2ピッチを残して、懸垂下降で引き返しました。我々はヘッドランプなしで出合いにぎりぎりのタイミングで到着しましたが、北稜からの先行パーティは日没時間切れでビバークになったようでした。

2日目は南稜を目指します。中央稜基部に到着したときには、すでに南稜は数珠つなぎの盛況ぶり。我々は最後尾につける予定で南稜テラスに上がろうとしていると、ガスが濃くなり霧雨状態になりました。南稜を断念してパーティの少ない中央稜に転身しましたが、霧雨で岩壁が濡れ始め、風も出てきて寒くなってきたので1ピッチ目の終了点で撤退を決めました。この2日とも晴天の予報だったのですが、日本海を通過した低気圧の影響が出たようです。

テールリッジにはシャクナゲやムラサキヤシオ、タムシバが、岩壁にはハクサンコザクラ、ハクサンイチゲ、コイワカガミが咲いていました。

なお、群馬県谷川岳遭難防止条例により3月1日から11月30日までの間に、マチガ沢・一ノ倉沢・幽ノ沢などの岩場地帯を登山する人は登山届と登山計画書を提出する必要があります。

(文=金丸勝実/『三重県の山』著者)

※編集部注：このルートはクライミング技術をはじめ、登山に関する高度な技術や能力が必要です。これらの技術や能力に不安がある人は安易に立ち入らないようにしてください。

参考書籍

アルペンガイド『谷川岳・越後・上信越の山』（谷川岳の一般登山道コースガイドを収録）

<https://www.yamakei.co.jp/products/2812013640.html>

寄稿者関連HP

歩人倶楽部

<http://www.photo-cb.com/>



週刊ヤマケイ

登山地情報



群馬県・榛名山

山麓一帯はヤマツツジが咲き競う



夜明け前、黎明の榛名山。硯岩から（写真＝小瀬村 茂）



相馬山山麓一帯に咲くツツジの大群落（写真＝小瀬村 茂）

6月3日、快晴

榛名山には、外輪山である烏帽子岳、掃部ヶ岳（かもんがだけ）、天目山、相馬山など展望に恵まれた縦走コースがあります。

この日の天気は梅雨入り前のすばらしい登山日和。満点の星空を見上げながら、榛名湖畔を早朝3時半に出発し、まずは硯岩をめざします。硯岩は掃部ヶ岳(1449m)へ登る途中にある断崖の岩場です。20分ほどの登りで到着し、眼下には榛名湖が見える絶景がひろがります。4時20分、烏帽子岳の背後から朝日がのぼり、榛名湖と榛名山群に陽があたり、山々が一齐に活気づきます。

日の出の景色を惜しみながら急いで下山し、次は相馬山登山口へ向かいました。沼の原の駐車場に車を止め、車道を離れた湿原から少し進むと相馬山山麓一帯はヤマツツジの群生地で、咲き誇ったツツジが付近一帯を真っ赤に染めています。今が満開のツツジの大群落は圧巻でした。

(文=小瀬村茂/山岳写真工房)

参考書籍

分県登山ガイド『群馬県の山』

<https://www.yamakei.co.jp/products/2815020390.html> (紙版)

<https://www.yamakei.co.jp/products/2816120409.html> (電子書籍版)



週刊ヤマケイ

登山地情報



尾瀬・尾瀬ヶ原

ミズバショウが見ごろとなった尾瀬



山ノ鼻から牛首にて (写真=中村重明)